

## 医師の診断を受け、治療証明書の記入をお願いしている感染症

感染症名	感染しやすい期間	出席停止後、登園開始の目安
インフルエンザ	発症後約3日は感染力が強い	発症後(症状が出て)5日、かつ解熱後3日を経過していること
百日咳	発症後約3週間(治療で短縮)	特有の咳が消失するまで、または5日間の抗菌剤による治療を修了していること
麻疹(はしか)	症状(発熱、咳)が出現する1日前から発疹出現後4~5日	解熱後3日を経過していること
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	発症数日前~症状消退まで	耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が出て5日を経過し、かつ全身状態が良好になっていること
風しん(3日はしか)	発疹出現数日前~後5~7日	発疹が消失していること
水痘(水ぼうそう)	水疱出現前1日~後6日	すべての発疹が痂皮化していること
咽頭結膜炎(プール熱) (アデノウイルス感染症)	発症数日前~後約5日	主要症状が消退した後2日を経過していること
結核	—	医師が感染のおそれがないと認めていること
腸管出血性大腸菌感染症 (O157、O26、O111)	多くは数日内	症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によっていずれも菌陰性が確認されていること
流行性角結膜炎	発症後約2週間	医師が感染のおそれがないと認めていること
溶連菌感染症	咽頭に溶連菌が存在する間	抗生物質治療開始後24~48時間を経て全身状態が良好な場合
感染性胃腸炎 (ノロ、ロタ、アデノウイルス)	原因ウイルス、細菌による	主な症状が消失し、全身状態が良好な場合
ヘルパンギーナ	発症前日~数日が感染力が強い (ウイルス排泄は2~4週間)	主な症状が消失し、全身状態が良好な場合
マイコプラズマ感染症	2週間前後	主な症状が消失し、全身状態が良好な場合
手足口病	発症後5日	食事ができて全身状態が良好な場合
伝染性紅斑(りんご病)	感染後1週間~10日(紅斑出現時にはほとんど感染しない)	紅斑出現時は元気がよく、全身状態が良好な場合
RSウイルス	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良好な場合
带状疱疹	水疱を形成している間	すべての保身が痂皮化(かさぶた)していること
突発性発疹症	—	解熱後、全身状態が良好な場合